

環境経営レポート

～ 2025 年度版 ～



サンデン商事株式会社

対象期間： 2024 年 10 月～2025 年 9 月

発行日： 2025 年 12 月 18 日

改訂日： 2026 年 2 月 3 日

目次

1. 組織の概要	2
2. 環境経営方針	3
3. 環境経営組織図 及び 役割・責任・権限表	4
環境経営組織図	4
環境経営 役割・責任・権限表	5
4. 環境経営目標・環境経営目標の実績	6
本社	6
五反田支社	7
大阪事務所	8
5. 環境経営計画・取組結果と評価、次年度の取組内容	9
本社	9
五反田支社	10
大阪事務所	11
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果 ならびに違反、訴訟等の有無	11
7. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果	11

1. 組織の概要

・事業所名及び代表者氏名

サンデン商事株式会社
代表取締役 甲田雅一

・所在地

本社： 東京都港区新橋4-24-11
五反田支社： 東京都品川区東五反田1-8-12
大阪事務所： 大阪府中央区北久宝寺町4-3-12

・環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者

総務部： 染澤 泰弘 TEL：03-3432-5621 FAX：03-3432-5627
Eメール：somezawa@sanden-shoji.co.jp

環境管理事務局

総務部： 小林 元子 TEL：03-3432-5621 FAX：03-3432-5627
Eメール：c.kobayasi@sanden-shoji.co.jp

・事業活動の内容

シール、パッキン、真空機器、電材、業務用音響機器、OA機器、システム開発、
及び食品等の総合商社

・事業の規模

主要製品の生産量・出荷額 33億円／2025年度

	本社	五反田支社	大阪事務所
従業員数	23名	27名	4名
延床面積	303.67 m ²	190 m ²	55.64 m ²

五反田支社所属社員の派遣労働者6名を除く

・EA21 対象範囲

登録組織名： サンデン商事株式会社
対象範囲： 全組織・全活動

2. 環境経営方針

【基本理念】

『為最徳如浄気』（最徳を為するは、気を浄めるが如し）

これは、我々生物にとって必要不可欠な空気を誰からも誉められることがないとしても、常に浄化する気持ちを持ち続け、実行していくことこそ一番の環境保護であり改善であるという当社の環境理念です。地球環境の保全及び維持は、人間自体の健康で文化的な生活に欠くことのできない条件であり、自然界の摂理に従い、生態系の微妙なバランスを保って人間のエゴで崩すことのない自然環境型によって成り立っています。

当社は、人類の存続の基盤である環境が、人間活動による環境への負担によって損なわれる恐れが生じてきていることを考え、現在および将来の世代の人間が健全な環境の恵沢を享受するとともに自然環境が将来に適切に保全していくことができるよう努力して参ります。

さらに、資源の有効活用と環境汚染の予防に取り組むとともに、環境に優しい商品、技術と経営の先端情報を提供する商社として、環境にかかわる情報を積極的に提供致します。

【環境経営活動の重点項目】

1. 電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
2. 使用原材料の省資源・廃棄物（食品廃棄物含む）の3R（減量，再使用，再生利用）の推進
3. 水資源の節約
4. グリーン購入の推進
5. 環境に配慮した製品の開発及び販売促進

これらについて、環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行ない、継続的な改善に努め、環境関連法規制や当社が約束したことを遵守いたします。

制定日：2019年11月1日

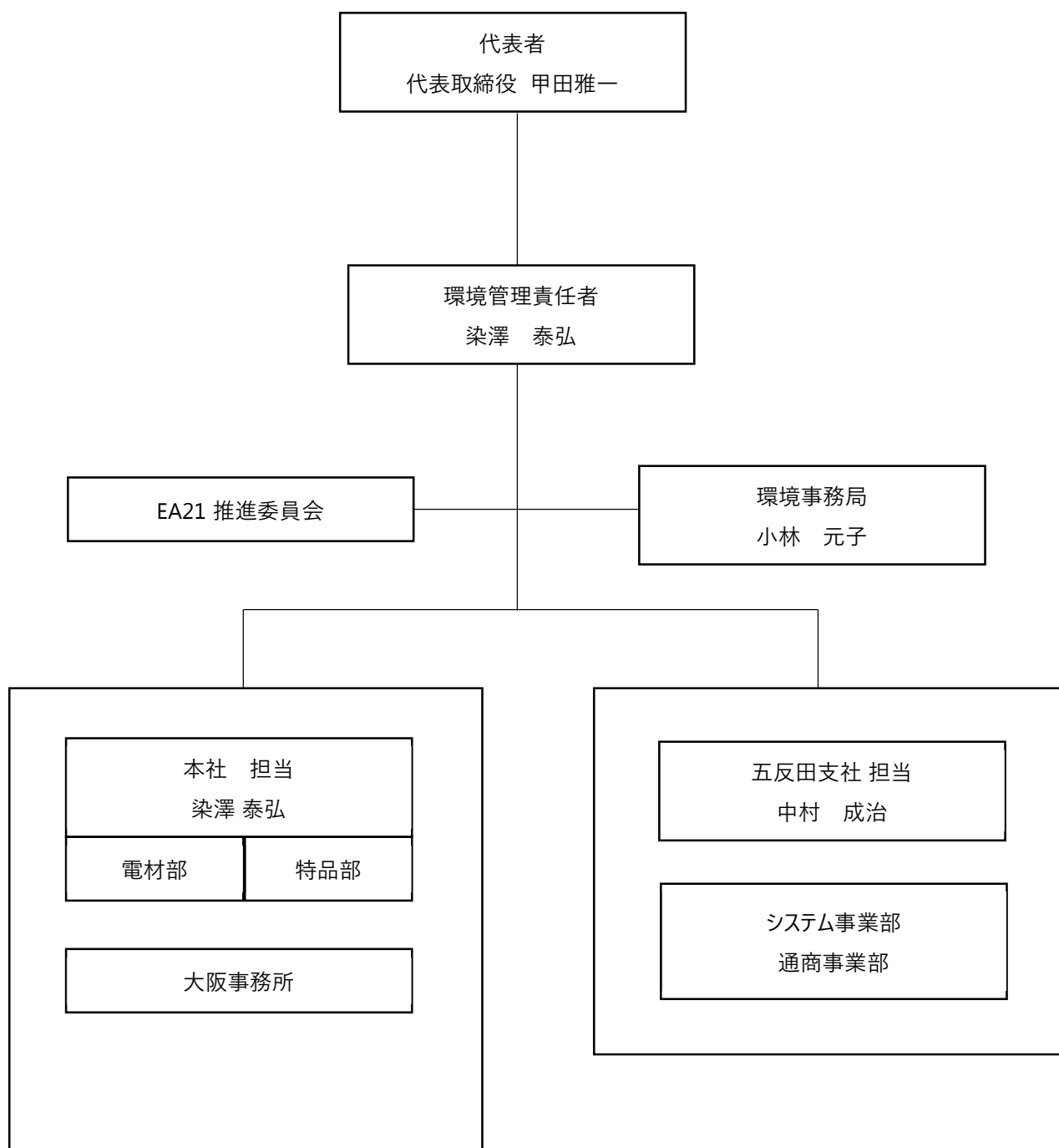
改定日：2026年1月29日

サンデン商事株式会社 環境経営方針より

代表取締役 甲田雅一

3. 環境経営組織図 及び 役割・責任・権限表

環境経営組織図



環境経営 役割・責任・権限表

代表者（代表取締役）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営に関する統括責任 ・ 環境経営方針の策定・見直し・従業員への周知 ・ 環境経営に必要な人、設備、費用、時間の準備 ・ 環境管理責任者を任命 ・ 実施体制の構築と全従業員への周知 ・ 経営における課題とチャンスの明確化 ・ 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・ 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営システムの構築、実施、管理 ・ 環境経営目標・環境経営計画を確認 ・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・ 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境管理責任者の補佐、EA21 推進委員会の事務局 ・ 環境負荷並びに環境への取組の自己チェックの実施 ・ 環境経営目標、環境経営計画原案の作成 ・ 環境経営計画の実績集計 ・ 環境関連法規等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・ 環境経営レポートの作成、公開 (事務所に備え付け及び地域事務局への送付)
EA21 推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営目標、環境経営計画の伝達 ・ 社員の意思統一、意見交換及び相互・全体評価の実施 ・ 各々の実施状況、目標達成状況、問題点などの報告 ・ 効果的な環境活動に向けての提案・意見の交換
各拠点担当	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自部門における環境経営システムの実施 ・ 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・ 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・ 特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・ 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 テスト、訓練を実施、記録の作成 ・ 自部門の問題点の発見、是正、予防処理の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・ 決められたことを守り、自主的かつ積極的に環境活動へ参加

4. 環境経営目標・環境経営目標の実績

本社 - 中・長期目標 ※ 個別に記載がない場合、基準年度は2024年度（2023年10月～2024年9月）

	基準年度 (2024年度)	中長期目標		
		2025年度	2026年度	2027年度
1. 二酸化炭素排出量削減				
・電気 (kg-CO2)	25,399	△1%	△2%	△3%
・ガソリン/軽油 (kg-CO2)	514	△1%	△2%	△3%
・都市ガス (kg-CO2)	147	基準年度以下	基準年度以下	基準年度以下
CO2 合計 (kg-CO2)	26,060	△1%	△2%	△3%
2. 廃棄物排出量削減				
・一般廃棄物 (kg)	700	△1%	△2%	△3%
・産業廃棄物 (kg)	実績なし	-	-	-
3. 総排水量削減 (m ³)	把握できない	節水に努める	節水に努める	節水に努める
4. グリーン購入 (%)	28	基準年度以上	基準年度以上	基準年度以上
5. 環境配慮製品「高機能パッキン (カルレッツ) 」の販売 (万円)	26,253	基準年度以上	基準年度以上	基準年度以上

※ CO2 排出係数は、R5 年度 東京電力エナジーパートナー(株)の調整後排出係数 0.456kg-CO2/kWh を使用。

2025 年度運用結果 (2024 年 10 月～2025 年 9 月)

	基準年度 (2024年度)	中長期目標		
		目標	実績	評価
1. 二酸化炭素排出量削減				
・電気 (kg-CO2)	25,399	25,145	24,360	○
・ガソリン/軽油 (kg-CO2)	514	509	840	×
・都市ガス (kg-CO2)	147	145	123	○
CO2 合計 (kg-CO2)	26,060	25,801	25,323	○
2. 廃棄物排出量削減				
・一般廃棄物 (kg)	700	640	660	×
・産業廃棄物 (kg)	実績なし	-	-	-
3. 総排水量削減 (m ³)	把握できない	-	-	-
4. グリーン購入 (%)	28	基準年度以上	28	○
5. 環境配慮製品「高機能パッキン (カルレッツ) 」の販売 (万円)	26,253	基準年度以上	17,049	×

○：目標達成 △：目標未達成但し基準年より改善 ×：目標未達成（小数点以下切り捨て）

五反田 - 中・長期目標 ※ 個別に記載がない場合、基準年度は2024年度（2023年10月～2024年9月）

	基準年度 (2024年度)	中長期目標		
		2025年度	2026年度	2027年度
1. 二酸化炭素排出量削減				
・電気 (kg-CO2)	21,385	△1%	△2%	△3%
・ガソリン/軽油 (kg-CO2)	-	-	-	-
・都市ガス (kg-CO2)	-	-	-	-
CO2 合計 (kg-CO2)	21,385	△1%	△2%	△3%
2. 廃棄物排出量削減				
・一般廃棄物 (kg)	700	△1%	△2%	△3%
・産業廃棄物 (kg)	1,414	△1%	△2%	△3%
・食品廃棄物 (kg)	320	0	0	0
3. 総排水量削減 (m ³)	172	基準年度以下	基準年度以下	基準年度以下
4. グリーン購入 (%)	28	基準年度以上	基準年度以上	基準年度以上

※ CO2 排出係数は、R5 年度 東京電力エナジーパートナー(株)の調整後排出係数 0.456kg-CO2/kWh を使用。

2025 年度運用結果 (2024 年 10 月～2025 年 9 月)

	基準年度	中長期目標		
		目標	実績	評価
1. 二酸化炭素排出量削減				
・電気 (kg-CO2)	21,385	21,171	20,997	○
・ガソリン/軽油 (kg-CO2)	-	-	-	-
・都市ガス (kg-CO2)	-	-	-	-
CO2 合計 (kg-CO2)	21,385	21,171	20,997	○
2. 廃棄物排出量削減				
・一般廃棄物 (kg)	700	640	550	○
・産業廃棄物 (kg)	1414	1400	1260	○
・食品廃棄物 (kg)	320	0	0	○
3. 総排水量削減 (m ³)	172	基準年度以下	176	×
4. グリーン購入 (%)	28	基準年度以上	19	×
5. 環境配慮製品「高機能パッキン (カルレッツ)」の販売 (万円)	対象品目ナシ	-	-	-

○：目標達成 △：目標未達成但し基準年より改善 ×：目標未達成（小数点以下切り捨て）

大阪事務所 - 中・長期目標

	基準年度（2024年）	中長期目標		
		2025年	2026年	2027年
1. 廃棄物排出量削減				
・一般廃棄物（kg）	実績ナシ	-	△1%	△1%
・産業廃棄物（kg）	実績ナシ	-	-	-
2025年度運用結果（2024年10月～2025年9月）				
	基準年度（2024年）	目標	実績	評価
1. 廃棄物排出量削減				
・一般廃棄物（kg）	実績ナシ	-	118	○
・産業廃棄物（kg）	実績ナシ	-	-	-

○：目標達成 △：目標未達成但し基準年より改善 ×：目標未達成（小数点以下切り捨て）

5. 環境経営計画・取組結果と評価、次年度の取組内容

本社：

環境経営計画	取組結果と評価	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減 <電気> ① 担当者による空調温度チェックと調整 ② 空調温度の適正化（冷房 28℃、暖房 22℃） ③ クールビズ・ウォームビズ実施 ④ こまめな消灯	<ul style="list-style-type: none"> ・室温管理の徹底を心がけました。 ・室内の適正な温度調整を社員に周知し協力を呼びかけました。 ・使用していない部屋の消灯を徹底しました。 → 電気代削減目標値を達成できました。	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して実施するようにします。 ・節電を意識します。 ・室温管理の更なる徹底を意識します。
二酸化炭素排出量削減 <ガソリン・軽油> ① ドライバーへのエコ運転指導・啓蒙 ② 停車時のアイドリングストップの励行 ③ 急加速・急停車の防止 ④ 定期的にタイヤ空気圧をチェック ⑤ 冷房の控えめ使用	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの意識向上を図りました。 → 営業活動拡大に伴い燃料の使用量が増加しました。	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きエコ運転の指導を徹底します。 ・車両利用の効率化を検討します。
廃棄物排出量削減 <一般廃棄物> ① 分別の徹底と担当者の見回り ② 印刷物の削減意識向上 ③ 紙類のリサイクルやごみの資源化 ④ ミスコピーの削減 ⑤ シュレッダー排紙のリサイクル化 ⑥ 電子メディアによるペーパーレス化	<ul style="list-style-type: none"> ・紙ゴミ類の資源化に努力しました。 ・紙利用から電子媒体の積極的利用を促進しました。 → 在宅勤務が解除され、事務所に出勤する従業員が増えたため廃棄物の排出量も増えました。	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き分別を徹底すること、および再資源化を心がけるよう努力を継続します。 ・無駄な印刷を避けるようにします。
総排水量の削減 ① 節水の呼びかけ実施	<ul style="list-style-type: none"> ・定量把握はできませんが、節水シールを貼るなどして意識向上を図っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・節水の意識を継続的に向上させていきます。
グリーン購入 ① グリーン購入を意識するよう、周知徹底を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン商品の購入の意識が定着しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・購入時にチェックすることを心がけるよう、継続的に意識向上を図ります。
環境配慮製品「高機能パッキン（カルレッツ）」の販売促進 ① ロングライフ製品、高機能パッキンの販売促進 ② 高機能製品の紹介、入替促進	<ul style="list-style-type: none"> ・商品の値上げにより売上が一時的に鈍化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に営業・販売するよう努力します。 ・環境保護経営を意識します。

五反田支社：

環境経営計画	取組結果と評価	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減 <電気> ① 空調温度のチェックと調整 ② 空調温度の適正化（冷房 28℃、暖房 22℃） ③ クールビズ・ウォームビズ実施 ④ 使用していないスペースの消灯および昼休み等休憩時の消灯	・意識して消灯を心がけました。 ・エアコン使用時に温度を意識するようになりました。 → 電気代削減目標値を達成できました。	・使用していないスペースの消灯を徹底していきます。 ・適切な室温管理の心がけを継続します。
廃棄物排出量削減 <一般廃棄物> ① 分別の徹底と担当者の見回り ② 印刷物の削減意識向上 ③ 紙類のリサイクルやごみの資源化 ④ ミスコピーの削減 ⑤ シュレッダー排紙のリサイクル化 ⑥ 電子メディアによるペーパーレス化	・分別、再資源化の努力が継続されています。 → 廃棄物削減に効果がありました。	・分別の徹底と、再資源化をさらに意識するようにします。
廃棄物排出量削減 <産業廃棄物> ① 分別の徹底とリサイクル化の促進 ② リサイクル業者の選定と連携強化 ③ リサイクル保管場所の確保	・分別を徹底しました。 ・リサイクルを意識しました。 → 意識改革が社員に定着してきています。	・引き続き分別を徹底すること、およびリサイクルできるものは積極的に業者と連携するようにします。 ・節約と物資の長期利用を心がけます。
廃棄物排出量削減 <食品廃棄物> ① 需要予測に基づく仕入量の適正化 ② 先入先出の徹底および賞味・消費期限管理の強化 ③ 売れ残り品・規格外品の有効活用の検討 ④ 食品廃棄物排出量の把握と従業員への周知	・計画的な管理の効果により、食品廃棄物の削減に成果が見られた。 ・繁忙期や急な需要変動時には廃棄が発生するリスクがあるため、さらなる改善の余地がある。	・食品廃棄物排出量の継続的な削減を目標とする。 ・需要予測の精度向上を図り、仕入・製造計画の見直しを定期的実施する。 ・在庫管理方法を再点検し、賞味・消費期限の管理をより徹底する。 ・規格外品や売れ残り品の有効活用方法を引き続き検討する。 ・従業員への教育・周知を行い、食品廃棄物削減に対する意識向上を図る。
総排水量の削減 ① 節水シール貼付とポスター等による啓蒙活動実施 ② 環境教育等による意識向上	・節水シールの貼付等により節水意識の向上が図られています。 → 在宅勤務が解除され、事務所に出勤する従業員が増えたため水の排出量も増えました。	・節水活動を継続して実施します。
グリーン購入 ① グリーン購入の強化 ② 事務用品の見直し	・グリーン商品の購入の意識が定着しています。 → 購入している対象グリーン商品が減少した。	・引き続き意識して向上を図ります。

大阪事務所：

環境経営計画	取組結果と評価	次年度の取組内容
廃棄物排出量削減 <産業廃棄物> ① 分別の徹底	・ 分別を徹底しました。 → 意識改革が社員に定着してきていま す。	・ 分別の徹底と、再資源化をさらに意識 するようにします。

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果 ならびに違反、訴訟等の有無

当社に適用される主な環境関連法規は以下の通りで、9月30日遵守評価の結果、これらへの違反はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

適用関連環境法規等	適用される事項 (事業活動、施設、物質等)	遵守状況の確認・評価
廃棄物処理法 品川区・港区 廃棄物条例 消防・救助法	廃プラ等の産廃 事業系一般ごみ 防火管理者選任 (届出) 消防計画の策定 (届出)	委託契約等 問題無し 届出・標識等 問題無し

7. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

当社では、環境経営および品質保全を重要な経営課題の一つと位置づけ、社員一丸となって各種取組を進めてきました。整理整頓や節電、廃棄物分別、ペーパーレス化などの活動は、日常業務の中に定着しつつあり、環境負荷低減に一定の効果を上げていると評価しています。

今後は、これらの取組を形骸化させることなく、エネルギー使用のさらなる効率化と業務改善を進める必要があります。そのため、環境配慮を意識した営業活動および業務遂行に従業員に改めて指示し、継続的な見直しを行うこととしました。

当社は、今後も環境経営の継続的改善に取り組み、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

(以上)